

# 英語のつづりと発音の関係

## 1. 原則

英語の発音は基本的にはローマ字(ヘボン式)と同じように、母音 a(ア),i(イ),u(ウ),e(エ),o(オ)と子音(母以外の音)の組み合わせで決まります。だから、ローマ字が読めて書ければ、それを応用すれば理解は、はやいです。

## 2. アルファベットの読みと担当する行の関係

エイ a	“エ”と“イ”の2つの母音から成る(二重母音), <b>ア, エイ, エ, オ</b> などの読み方がある。
ビー b	“ビ”だから <b>バ・ピ・ブ・ベ・ボ</b>
スイー c	“スイ”だから <b>サ・スイ・ス・セ・ソ</b> (サ・シ...でないことに注意) <b>s</b> の音 他に <b>k</b> の音(カ行)を担当することが多い。
ディー d	“ディ”だから <b>ダ・ディ・ドゥ・デ・ド</b> (ダ・ジ・ズ...でないことに注意)
イー e	“イー”母音。 <b>エ, イ, イー</b> などの読み方がある。
エフ f	“エフ”だから、 <b>ファ・フィ・フ・フェ・フォ</b>
ジー g	ふつうは <b>ガ・ギ・グ・ゲ・ゴ</b> を受けもつ。ときにや <b>ジュ</b> (ge)
エイチ h	<b>ハ・ヒ・フ・ヘ・ホ</b>
アイ i	“ア”と“イ”の2つの母音から成る(二重母音), <b>イ, アイ</b> などの読み方。
ジェイ j	“ジェ”だから、 <b>ジャ・ジ・ジュ・ジェ・ジョ</b>
ケイ k	“ケ”だから、 <b>カ・キ・ク・ケ・コ</b>
エル l	“ル”だから、 <b>ら・り・る・れ・ろ</b> 。日本語のラ行に近い音だが、rの音と区別するため辞書などでは、ひらがな
エム m	“ム”だから <b>マ・ミ・ム・メ・モ</b>
エン n	“ン”。そのほかに <b>ナ・ニ・ヌ・ネ・ノ</b>
オウ o	“オ”と“ウ”の2つの母音から成る(二重母音), <b>オ, オウ, ア</b> など
ピー p	“ピ”だから <b>パ・ピ・プ・ペ・ポ</b>
キュー q	後に母音をともなって、 <b>クワ・クエ</b> と読むことあり。
アー r	<b>ラ・リ・ル・レ・ロ</b> 。ただし、日本語のら行とちがいで、舌先を上につけないで、のどのほうに丸めていく。日本語のら行に近いのは <sup>エル</sup> lの音。また、母音のすぐ次にきたときは、その母音をのばすのに使われることが多い。
エス s	“ス”だから <b>サ・スイ・ス・セ・ソ, ザ・ズィ・ズ・ゼ・ゾ</b> (にごる音)
ティー t	“ティ”だから <b>タ・ティ・トゥ・テ・ト</b> (タ・チ・ツ...でないことに注意)
ユー u	<b>ユ</b> の読み方が時々。たいていは母音として、 <b>ア</b> と読むことが圧倒的。 <b>ウ</b> と読むことはほとんどない(ウと読む必要がほとんど無いから)。
ヴィー v	唇を破裂させる音。“ <b>ヴィ</b> ”だから <b>ヴァ・ヴィ・ヴ・ヴェ・ヴォ</b>
イクス x	単語の最後の文字になって、 <b>クス</b> 。

ダブル w	ワ・ウィ・ウ・ウェ・ヲ (ここでのウィ・ウ・ウェはワ行の音で、母音ではない)
ワイ y	子音としてはヤ・イ・ユ・イエ・ヨ。母音 i のかわりに使われることもよくあり、このときはアイ、イ
ゼッド z	“ゼ”だからザ・ズィ・ズ・ゼ・ゾ

### 3 . 2字の子音が集まって1つの行を担当する組み合わせ(ローマ字にないものもふくむ)

sh...シャ・シ・シュ・シェ・ショ          ts...ツ(だから、tはトゥ)

ch...チャ・チ・チュ・チェ・チョ

wh...ワ行の前に、軽くフをつけて、フワ・フウィ・フウェ(what など)

th...さ・すい・す・せ・そ    sのサ行とちがい、舌をかねて、息をもらす音。

辞書などでは、sのサ行と区別するため、ひらがなで書かれる。

ざ・ずい・ず・ぜ・ぞ(にごる音)

ck(最後の ck)...ック(つまってク)

### 4 . 母音字を2つ以上組み合わせ

oo...ウ, ウー(オの音は消える)    ee...イー

ea...イー, エ

er...ア

ar...はっきりしたアー(口を大きめに開けて、はっきりアーと発音する)

ir, ur, or, ear...あいまいなアー(口をポケ〜と開けて、ただ声を出すだけ)

### 5 . 母音と子音を組み合わせ

aw...オー

ow...アウ

ew...ユー

### 6 . いくつかの原則

(1)子音だけ...原則ウの段で読む    ウの段以外で読ませたければ、母音をつける。

(2)最後の e は原則として発音しない。

(3)ときどき、読まない字があります。

### 6 . 実践例

desk    de    s    k  
          デ    ス    ク

de    dでダ行, eはイかエ。この場合はエで、**デ**  
s    サ行で、母音がないからウの段で**ス**  
k    カ行で、母音がないからウの段で**ク**

name    na        me  
          ネイ        ム

na    aをエイと読んで、**n**と**エ**で**ネ**,イが残って,**ネイ**  
me    eを無視すればmだけで**ム**

book    boo   k                    oo はウかうー。この場合はウで、**ブ**。つまるのは読み  
           ブッ   ク                       やすくするため

以下、説明を省いて、分解しての読み方のみを記します。

like        ライ   ク li   ke	listen      リ   ス          ン li   s   te   n   読まない字	under      ア   ン          ダ u   n   der
speak      ス   ビー   ク s   pea   k	meet        ミー   トゥ mee   t	computer   コ   ム   ビュー   タ co   m   pu   ter
summer     サ   マ su   mmer	Dear        ディ   ア De   ar	enjoy      イ   ン   ジョ   イ e   n   jo   y
this        ズィ   ス thi   s	third        サ  ー   ドゥ thir   d	please     プ   リー   ズ p   lea   se
dance      ダ   ン   ス da   n   ce	January    ジャ   ニュ   ア   リ Ja   nu   a   ry	
work        ワ  ー   ク wor   k	month      マ   ン   ス mo   n   th	sit         スイツ   トゥ si   t
but         バッ   トゥ bu   t	simple        スィ   ム   プ   ル si   m   p   le	swim      ス   ウィ   ム s   wi   m
write        ライ   トゥ w   ri   te   発音しない	only         オウ   ン   リ o   n   ly	use         ユー   ズ u   se
run         ラ   ン ru   n	right        ライ           トゥ ri   gh   t   発音しない	next        ネ   クス   トゥ ne   x   t
from        フ   ロ   ム f   ro   m	well        ウェ   ル we   ll	home      ホウ   ム ho   me
with        ウィ   ズ wi   th	have        ハ   ヴ ha   ve	hand        ハ   ン   ドゥ ha   n   d
three      ス   リー th   ree	park        パー   ク par   k	people     ビー   プ   ル peo   p   le
kind        カイ   ン   ドゥ ki   n   d	king        キ   ン   グ ki   n   g	place      プ   レイ   ス p   la   ce

などのように、つづりを分解していくと、読み方の見当がついてきます。

つづりを覚えるときは、アルファベットで覚えるのではなく、例えば desk なら、「デ」と言いながら de, 「ス」と言いながら s, 「ク」と言いながら k, と書いていくと効果的です。

また、その逆に単語を読むときも de を見て「デ」、s を見て「ス」、k を見て「ク」のように、なんとなく読むのではなく、しっかり単語をつづりに分解して読むくせをつけると、覚えるのがとても速くなります。規則性もいろいろ気づいていきますよ。

#### 終わりに

英単語の発音がうまくできない。英単語のスペルが覚えられない…。長年にわたる指導において、生徒たちの切実な悩みでした。この2つの問題をいっぺんに解決する方法はないものか？ 以下に述べる事柄は、私が導いた最良の解決策です。

**英語の発音とスペルの関係をマスターする。**読むときも書くときも、その規則性を考えながら学習していけばいいのです。

単語の練習を、ただアルファベットをその通りに組み合わせて書くだけ。読むときも教えられたとおり何となく読むだけ。このような「勉強」とは、今日でサヨナラしましょう。

#### 本稿に関する注意事項

- ・ローマ字(ヘボン式)が一通り理解できていることが前提となります。
- ・英単語における発音とスペルの規則性を重視しています。
- ・英語としての正しい発音の仕方は、日本語とは相当異なるものを中心に、できるだけくわしく説明してあります。
- ・発音記号を覚える負担を減らすため、**発音はすべてカタカナに直す形**をとっています。実際の英語の発音を、なるべくそれに近い日本語に置き換えているため、正式な発音とは異なる部分があります。慣れてきたら、発音記号を学習することをおすすめします。